| 学校番号 | ３０４ |
|---|---|

# 令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | 文型地学 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 啓林館「地学基礎　改訂版」（継続使用）<br>数研出版「新課程　大学入学共通テスト対策　チェック＆演習　地学基礎」<br>第一学習社「新課程二訂版 スクエア最新図説地学」（継続使用） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次に地学基礎で学んだ内容を復習しながら、演習問題を解いて共通テストに備えます。
・地球や宇宙に起こる現象についての基本的な概念や原理，法則を理解する
・地球と宇宙に関する事柄の，時間的・空間的なスケールを正しく理解する
・自然と人間のかかわりについて科学的な考え方ができるようにする
この３つを通じて、到達目標に近づけるよう一緒に学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・地球科学に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。
【思考力・判断力・表現力等】
・地球や地球を取り巻く環境について理解し，実験や観察を通して手法の工夫や多面的な判断力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・社会が抱えている課題に地球科学分野からどのようにアプローチできるかを調べ学習で理解し，スライドの作成や発表を通して，自ら学び伝える力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地球環境や、地球環境を能動的に変えながら進化した（絶滅した）生物の歴史や、宇宙の普遍要素（恒星の誕生と死、恒星系、宇宙の大規模構造）について、基本的な概念・知識を身に付けているか。 | 地球上の現象（気候・気象・火山・地震など）を探求するやり方を見いだし、その課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現することが出来るか。 | 日常生活や社会との関連を図りながら地球という環境に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、他の天体との比較を通して科学的な見方や考え方を身に付けることが出来るか。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 固体地球とその変貌 | 地球の概観<br>地球の内部<br>地球の活動 | a: 地球という惑星の規模（大きさ、形、質量、内部での活動）について実際にそれを測る方法について理解することができる。<br>b: 地球の規模実際の観測値から地球の緒量を導くことができる。<br>C:地球の構造について意欲を持ち理解しようとする。 | 学習状況、問題集、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、問題集、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、問題集、ワークシート |
| | 大気と海洋 | 地球の熱収支と<br>大気･海水Ⅱ<br>大気と海水の運動 | a: 地球の熱収支や大気、海洋の熱運搬について理解することができる。<br>b: グラフを用いて地球規模の熱の流れについて考え、思考することができる。<br>c: 熱収支によって生じる様々な地学現象について意欲を持ち理解しようとする。 | 学習状況、問題集ト、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、問題集、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、問題集、ワークシート |
| 2学期 | 銀河系と宇宙 | 地球と惑星の運動<br>太陽の構造と活動<br>恒星の性質と進化<br>銀河系と宇宙 | a:宇宙の各現象について、また恒星や惑星について基本的な内容を理解する。<br>b:様々な宇宙の現象について、学んだ知識を用いてその原因や経過について思考することができる。<br>c:宇宙の様々な天体について意欲を持ち理解しようとする。 | 学習状況、問題集、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、ノート、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況問題集、ワークシート |
| | 地球の生命の歴史 | 地層の形成と地殻変動<br>化石と地質時代Ⅰ | a: 地層の形成や地層の種類、河川の流れによる運搬堆積の関係について理解することができる。<br>b: 河川と砕屑物の関係性についてグラフをつくることができる。<br>C:様々な地形について意欲を持ち理解しようとする。 | 学習状況、問題集、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、問題集、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、問題集、ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 地球の生命の進化Ⅱ 自然との共生 | 化石と地質時代Ⅱ<br>大気･海洋の構造<br>地球の熱収支と<br>大気･海水Ⅰ | a:地球の熱収支や大気、海洋の熱運搬について理解することができる。<br>b:グラフを用いて地球規模の熱の流れについて考え、思考することができる。<br>c:熱収支によって生じる様々な地学現象について意欲を持ち理解しようとする。 | 学習状況、ノート、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、ノート、ワークシート<br>定期テスト | 学習状況、ノート、ワークシート |
| | まとめ | 地学基礎の総復習 | a:地球環境、地球環境を能動的に変えながら進化した生物の歴史、宇宙の普遍要素（恒星の誕生と死、恒星系、宇宙の大規模構造）について、知識・技能を身に付けているか。<br>b:地球上の現象を探求するやり方を見いだし、その課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現することが出来るか。<br>c: 日常生活や社会との関連を図りながら地球という環境に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けることが出来るか。 | 学習状況 | 学習状況 | 学習状況、レポート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度